毎年、バングラデシュ、チッタゴン丘陵の紛争被害児童・生徒たちに会いにいきます。毎年大きく成長する子どもたちに励まされています。うで相撲の相手のリクは、お父さんをベンガル人入植者に殺され、6歳の時に、モノゴールにきました。もう18歳になろうとしています。

2019年度　ジュマ・ネット活動報告書

2019年度　活動報告

1．平和促進活動

(1) 北東インドのアッサム州、トリプラ州の人権問題の調査

ベンガル人イスラム教徒の人口増加により、以前からそこに住んでいた先住民族との間に、土地利用や生活空間をめぐる抗争や襲撃事件が続いている。ミャンマーのロヒンギャを「南のロヒンギャ」とするならば、アッサム州、トリプラ州のベンガル人は「北のロヒンギャ」ということもできる。本年度は、こうした実態を現地調査した。

8月にインド、アッサム州では、チラン県、コクラジャール県を訪問し、現地NGOの活動を視察した。2012年にあった襲撃事件の被害世帯の聞き取りを行うと同時に、全国市民登録簿から除外された人々の実態を調査した。長く続く民族対立を解消すべくNGOの努力が行われていたが、全国市民登録簿の問題に対しては、慎重なことがわかった。片方、弁護士などのネットワーク組織の中に、支援の動きがあることもわかった。

その後2月に運営委員の木村が再度アッサム州を訪問し、詳細な聞き取り調査を実施するとともに、プロジェクトを協働できる可能性のあるNGOとの調整作業を行った。

インド、トリプラ州では、トリプラ人による人権団体・ボロック人民人権協会（Borok People Human Right Organization）を訪問し、マイノリティとなったトリプラ人の状況を調査した。暴動が発生した事件の現場などを訪れるとともに、トリプラ人リーダーたちと将来の活動のあり方をシェアした。

2020年はアッサム州、トリプラ州のNGOと協働して、活動を展開する予定である。

インド、アッサム州でのプロジェクトを一緒に行うジャイ財団のメンバーたち。

(2) 「コルポナ・チャクマはどこへいった」のドキャメンタリーフィルムの閲覧の告知

2017年度に完成した、バングラデシュ軍に誘拐され行方不明となっているコルポナ・チャクマ事件の実態を伝ええた「コルポナ・チャクマはどこに」のショート・ビデオを、世界の人々に事件が発生した6月12日にこのビデオを世界各地の人々に観てもらうための告知活動を、SNSを通じて行った。

(3) チッタゴン丘陵国際委員会の会議への参加

チッタゴン丘陵国際委員会は、2008年に再結成され、チッタゴン丘陵の平和構築のために活躍した。しかし、2013年以後から政府や軍の妨害を受け、活動が停止していた。チッタゴン丘陵国際委員会の今後を話し合う会議が、2020年1月にオーストラリアで企画され、ジュマ・ネットからも2名が参加することになっていた。しかし、オーストラリアで長く続く森林火災のため、急遽キャンセルとなり、参加と協議がかなわなかった。今後も、委員会の動きには注目し、関与を続けていく。

2. エスニック・マイノリティの被害者支援活動

(1) チッタゴン丘陵、児童・生徒の教育支援

ジュマ・ネットはチッタゴン丘陵の内紛が原因で修学機会を失った児童・生徒を対象に教育支援事業を2007年から続けてきた。2019年度は計6名でスタートしたが、年度途中で武装グループの内紛で父親が殺された4名の生徒を加え、計10名の教育支援を実施した。児童・生徒らは、チッタゴン丘陵ランガマティ県にあるモノゴールという寄宿学校で生活し、学校に通っている。
2019年の支援児童は次ページに紹介する。

(2) チッタゴン丘陵、バンダルバン県のムルー民族の小学校支援の調査

チッタゴン丘陵、バンダルバン県は、軍による土地収奪が深刻な場所で、これらの問題は国内でもあまり知られていない。
今回はバンダルバン市近郊のの農村地域の私立小学校を訪問し、土地収奪の状況を調査するとともに、支援の可能性を検討した。
2020年度は小学校の運営支援を開始する予定である。

支援予定のビッタ・パラ小学校

2019年度　紛争地における教育支援の児童・生徒

リトン・チャクマ
18歳で11年生になります。軍人にお父さんが撃ち殺され、勉強の機会を失いそうな時に、ジュマ・ネット支援で妹のシリカと一緒に7年前にモノゴールにやってきました。なんとか高校認定試験に通り、今は、地元の短大に通っています。

シリカ・チャクマ
16歳で10年生です。兄のリトンと一緒にこのモノゴールに7年前にやってきました。笑顔で少しやんちゃな女の子になりました。一度勉強が嫌いになり、実家に戻ったこともありましたが、心を入れ替え、再度モノゴールでチャレンジしています。

リク・チャクマ
17歳で9年生になります。お父さんがベンガル人に殺され、お兄さんと8年前にこのモノゴールで学び始めました。3年前に内耳炎がもとで、聴覚障害者となってしまい、しばらく勉強を続けるか悩んでいましたが、2年前からはパン屋で修業をしています。

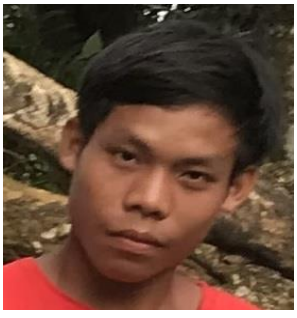
トゥンパ・チャクマ
9歳で4年生です。4人姉妹の3番目で、すぐ上のお姉さんのエリと一緒に、モノゴールにやってきました。父親が対抗する武装グループに殺害され、いまだに発見されていません。好きな科目はベンガル語で、英語が苦手だそうです。授業のない金曜日はお姉さんと一緒に遊んでいます。

ノンディン・チャクマ
16歳で9年生です。お母さんは2歳の時に病気で亡くなり、兄弟はいません。1年前にお父さんが敵対するグループに殺害され、孤児になりました。英語が好きで、数学が苦手です。休みの日は友達と歌をうたったりしています。

イティモニ・チャクマ
13歳で8年生です。モノゴールに来て、もう6年目になります。小さいころ悲しい事件に遭い、ジュマ・ネットの支援で、モノゴールで学ぶことになりました。以前はほとんど笑わない子どもだったのですが、最近はこんなに笑う元気な女の子になりました。好きな科目は英語と歴史です。

エリ・チャクマ
11歳の6年生です。お母さんから、6年生になったらモノゴールで勉強するのよと言われ、ここにきました。お父さんが敵対するグループから殺害され、非常につらい思いをしました。妹のトゥンパと一緒に勉強しています。

ジカ・チャクマ
8歳の3年生です。お父さんは、敵対する政治グループに殺害されました。ベンガル語が好きで、算数が苦手です。歌とダンスが大好きで、村のお祭りでは舞台でも踊っていました。将来は警察官になりたいそうです。



リペン・トリプラ
16歳で10年生です。モノゴールに来て、2年目です。家庭が非常に貧しく、周辺のベンガル人に脅される生活だったため、現地のNGOスタッフと相談して、モノゴールで学ぶことになりました。まだ生活に慣れないのか、言葉少なく語ってくれます。

モンプリ・チャクマ
10歳で、4年生です。モノゴールに来て3年目になります。小さい頃悲しい事件に遭い、勉学をつんで自立する決意し、このモノゴールにやってきました。最近は、友達もでき、笑顔が多くなってきました。勉強は英語が好きで、お友達とおしゃべりするのが好きです。

2019年度　ジュマ・ネット特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

［税込］（単位：円）

2020年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		仮受金	0
現金	172,110	流動負債 計	0
郵便振替口座預金	4,705,371	**負債の部合計**	**0**
普通 預金	1,663,326	正味財産の部	
現金・預金 計	6,540,807	【正味財産】	
		正味 財産	3,005,326
（その他流動資産）		（うち当期正味財産増加額）	3,356,788
仮払金	288	正味財産 計	6,362,114
貸倒引当金	△ 178,981	**正味財産の部合計**	**6,362,114**
流動資産合計	6,362,114		
資産の部合計	**6,362,114**	**負債・正味財産の部合計**	**6,362,114**

2019年度　ジュマ・ネット特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

［税込］（単位：円）

	自 2019年 4月 1日	至 2020 3月31日
《経常収支の部》		
［経常収支の部］		
【経常収入】		
受取会費	549,190	
受取寄付金	1,525,438	
受取助成金	0	
国内活動収益	0	
販売事業収益	46,880	
受取利息収入	21	
経常収入 計		2,121,529
【事業費】		
海外事業費	653,685	
旅費交通費	90,906	
通信費	95,145	
業務委託費	70,615	
支払手数料	1,258	
出展費	11,880	
印刷製本費	115,192	
仕入高		
当期事業費 計	1,038,681	
合 計	1,038,681	
事業費 計		1,038,681
【管理費】		
旅費交通費	28,400	
通信運搬費	53,309	
事務用消耗品費	81,558	
支払手数料	656	
地代 家賃	265,560	
印刷 経費	369	
管理費 計		429,852
経常収支差額		652,996
［その他資金収支の部］		
【その他資金収入】		
その他資金収入 計		0
当期収支差額		652,996
前期繰越収支差額		5,707,518
次期繰越収支差額		6,360,514

2020年度　活動計画

1．平和促進活動

(1) 北東インドのアッサム州の市民権を奪われた人々への支援活動

2019年8月にインドで実施された全国市民登録簿（NRC）の見直しにより、インド、アッサム州の190万人、主にイスラム教徒が名簿から除外される事態が発生している。対象となった人々は何代にもわたってアッサム州で暮らす人々も多く、政府に名簿登録させるためには、外国人審判所で長く居住していたことを証明しないといけない。また名簿から除外された人々の数千名が拘留される事態となっており、これらの人々にとって経済的、心理的にも大きなダメージになっている。

地域の女性とミーティングをするジャイ財団のメンバーたち

ジュマ・ネットは、現地団体のジャイ財団および弁護士ネットワーク団体のHuman Right Law NetworkとJustice and Liberty Initiativeらと連携し、アッサム州パルベタ県において、特に今回の事態で生活上の困窮や困難に直面している人々を対象に支援活動を展開する。

(2) 北東インド、トリプラ州の人権団体エンパワーメントプロジェクトの実施

インド、トリプラ州はベンガル人の流入が続いており、先住民族のトリプラ民族は、トリプラ州の人口の約2割とエスニック・マイノリティ化が進んでいる。州の政治や政策もベンガル人中心の傾向が強まり、民族対立意識から生まれる抗争やトラブルが絶えない状況である。トリプラ民族の人権を守るための唯一の組織である、Borok Peoples Human Rights Organisation (BPHRO)の組織強化を図るよう支援を開始する。特に人権侵害と土地問題を国際社会に伝える組織力を強化することと、人材育成を進める予定である。

トリプラ王国時代の古い宮殿にあるBPHROの事務所

(3) チッタゴン丘陵国際委員会の再構築会議への参加

2008年に結成されたチッタゴン丘陵国際委員会は、その後活発に活動を展開したものの、バングラデシュ政府や軍関係者の妨害、ハラスメントが続く中、活動自体が徐々に停滞していった。委員会の再活性化を検討する会議が2020年1月にオーストラリアで予定され、ジュマ・ネットからも2名の委員が参加する予定であったが、当時深刻化していた森林火災の事態を受けて、会議が延期された。今後、委員会の再活性化の会議が開催される場合、積極的にジュマ・ネットとしてもかかわっていく。

2. エスニック・マイノリティ被害者支援活動

(1) チッタゴン丘陵　児童・生徒の教育支援

ジュマ・ネットはチッタゴン丘陵の内紛が原因で修学機会を失った児童・生徒を対象に奨学金を提供し、学習支援を2007年より続けてきた。父親が殺害された、ベンガル人入植者に土地を奪われた、レイプ被害にあった等、深刻の被害を受けた家族の児童・生徒を、現地スタッフと慎重に対象児童を選考している。選考された児童・生徒は、チッタゴン丘陵のランガマティ県にある寄宿学校モノゴールで、親元を離れて学ぶことになっている。

2019年度は6名の生徒の支援を継続した。2020年度は、ジュマ間の内部抗争で父親を殺された4名の学生を加え、計10名の児童・生徒を支援する予定である

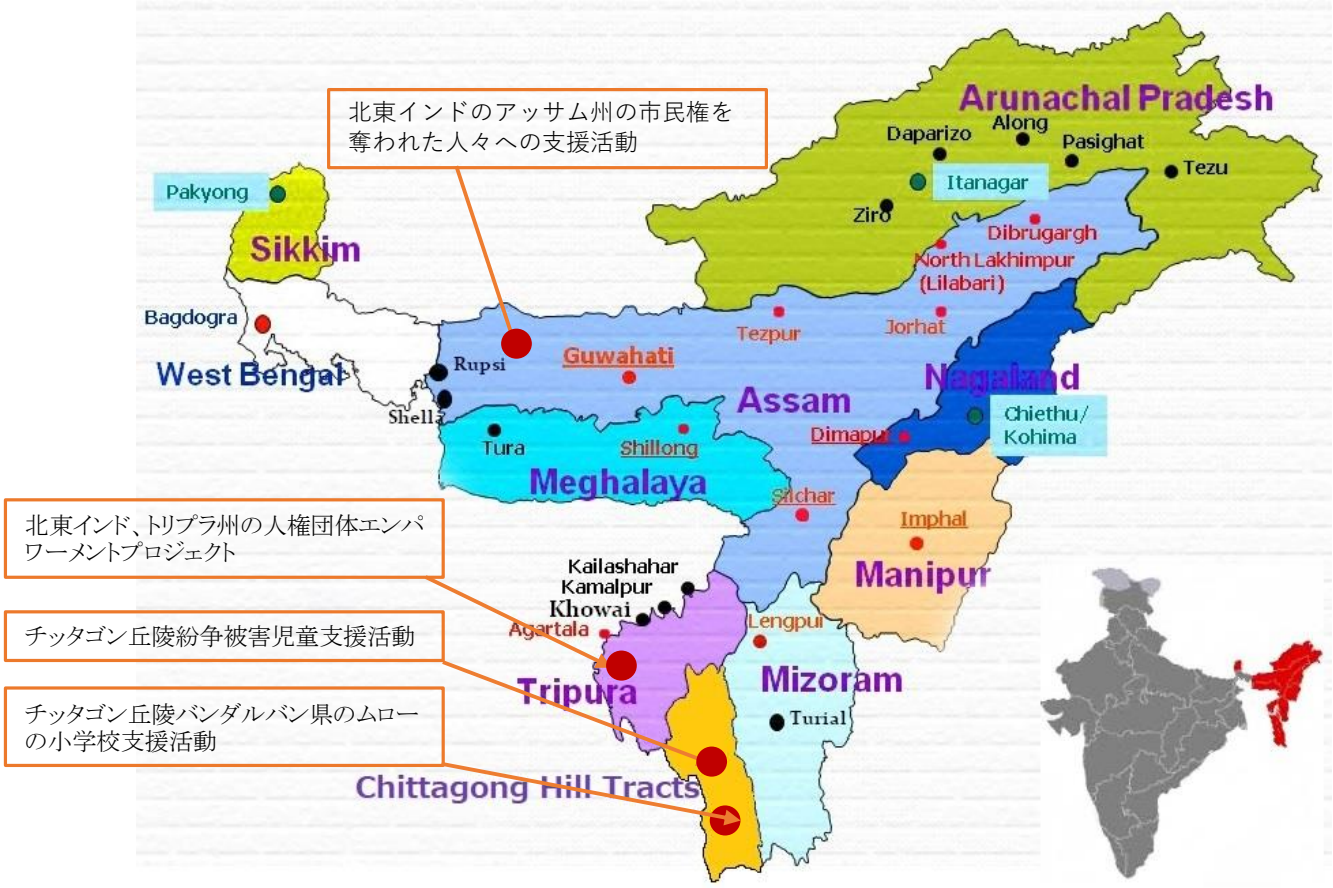
2020年支援対象の児童・生徒たち

(2) チッタゴン丘陵バンダルバン県のマイノリティ・コミュニティ、ムローの小学校の支援活動

チッタゴン丘陵の3県の中で、南に位置するバンダルバン県には、ムロー民族が多く住んでいる。片方でこの地域は軍の強い支配下にあり、不法な土地収奪が集中する地域でもある。バンダルバン県州都バンダルバン市のやや郊外のBitta Para小学校の周辺の農民の土地を軍が不当に収奪し、地代を徴収するといった惨状が続いている。そのため、小学校の教員の給与や教材の支援、貧困世帯の児童の奨学金の支援を進める。

ビッタ・パラ小学校の児童たち

2020年活動地MAP



2020年度 予算書(案)

[経常収支の部]

【経常収入】		2019年決算	2020年度予算	備考
会費		549,190	550,000	
寄付金収入	寄付	1,525,438	1,600,000	
	クラウドファンディング	0	500,000	
	小計	1,525,438	2,100,000	
助成金	助成金	0	600,000	
	小計	0		
国内活動収益	ブックレット販売、その他の販売事業	46,880	50,000	
利息収入		21		
経常収入 計		2,121,529	3,300,000	
【事業費】				
海外活動費	モノゴール紛争被害児童教育支援事業	453,685	430,000	
	バンダルバン小学校支援事業	0	300,000	
	インド・アッサム調査および支援事業	200,000	1,500,000	
	トリプラ州人権団体支援事業	0	300,000	
	旅費交通費	90,906	100,000	現地出張経費
	小計	744,591	2,630,000	
商品仕入れ高	販売事業の仕入代金等	0		
	小計	0		
国内活動費	通信運搬費	95,145	100,000	
	業務委託費	70,615	50,000	
	消耗品費	0	0	
	支払い手数料	1,258	2,000	
	出展料	11,880	12,000	
	印刷製本費	115,192	116,000	
	小計	294,090	280,000	
事業費 計		1,038,681	2,910,000	
【管理費】				
旅費交通費		28,400	30,000	
通信運搬費		53,309	55,000	
消耗品費		81,558	33,500	
修繕費				
支払手数料		656	1,000	
地代 家賃		265,560	270,000	
印刷製本費		369	500	
雑費				
	管理費 計	429,852	390,000	
	【事業費】+【管理費】	1,468,533	3,300,000	
	経常収支差額	652,996	0	
	前期繰越収支差額	5,707,518	6,360,514	
	次期繰越収支差額見込み	6,360,514	6,360,514	

2020 年度ジュマ・ネット役員

共同代表（2名）	
下澤 嶽	大学教員
トム・エスキルセン	通訳
運営委員（3名）	
安達　淳哉	会社員
木村　真希子	大学教員
日下部 尚徳	大学教員
アドバイザー委員（5名）	
郡司 真弓	ジュマ・ネット会員
渋谷 敦志	フォトジャーナリスト
ディプティ・ションコール・チャクマ	会社員
野口 陽一	団体理事
持田 貫信	僧侶
監事（2名）	
今村 公保	僧侶
井口　由美子	会社員

ジュマ・ネットのミッション

エスニック・マイノリティの人々が、平和な社会に暮らし、基本的な人権が守られ、自立的な発展が保障される社会を目指す。

〒110-0005東京都台東区上野5-3-4
クリエイティブOne秋葉原ビル6F
電話・FAX　03-3831-1072
E-mail：jummanet@gmail.com
Web：　http://www.jummanet.org/

ジュマ・ネットの歩み

2002年	4月、日本人ボランティアと在日ジュマでジュマの正月行事「ボイサビ」を実施。
2003年	8月、カグラチョリ県マハルチョリの襲撃事件が発生。緊急支援活動を実施する。 11月、ジュマ・ネットの設立総会が開催される。
2004年	11月、ジュマ・ネットの事務所開設。 12月、入管に拘束されたディプティさんを救う緊急行動市民の会に参加し、協力。
2005年	2月、第1回平和ミッションを実施。13名が参加。
2006年	3月、マイメンシン県のエコ・パーク建設反対活動を支援。 7月、「コルナフリの涙」上映・DVDの発売 6月、チッタゴン丘陵国際委員会の結成に関わる。その後委員会の支援を継続する。
2007年	11月、チッタゴン丘陵白書完成、出版。
2008年	7月、販売事業を開始。 12月、ランライ氏とボクール氏の釈放のための署名キャンペーンを実施。
2010年	2月、バングラデシュ首相に「チッタゴン丘陵和平協定の完全実施を求める要請書」を手渡す。
2011年	5月、国連の先住民族問題常設フォーラムに参加。その後、毎年参加を続ける。
2012年	2月、事務所を秋葉原に移転。
2014年	5月、NGO3団体で、エスニック・フェスタを開催する。
2015年	5月、新しいチッタゴン丘陵白書を出版。 9月、チッタゴン丘陵和平協定実施を求めて、国際署名キャンペーンに参加。
2016年	8月、ナガランドを訪問し、連携を探る。
2017年	3月、5月、9月、10月、バングラデシュのロヒンギャ難民の支援活動を展開。 6月「コルポナ・チャクマはどこへ」のショートビデオ作成。 6月に発生したロングドゥ・ジュマ襲撃事件被害者、土砂災害被害者への支援活動を実施。
2018年	6月から8月にかけて、ロヒンギャ難民キャンプに156基の簡易トイレを設置する。
2019年	8月に北東インド、アッサム州、トリプラ州の人権の調査を実施する 10月、内紛で父親をなくしたバングラデシュの児童4名の支援を追加